



兵庫県マスコット はばタン

兵庫県・公益財団法人 兵庫県人権啓発協会



## は じ め に

近年、家族形態や雇用の変化、ライフスタイルや価値観の変化など様々な要因が重なり合い、社会から孤立していく人が増えています。血縁や地縁、社縁など、家族や地域、職場でのつながりが希薄化し、こうした社会状況は「無縁社会」と呼ばれ、孤独死などが大きな社会問題となっています。

また、いじめや体罰、虐待、ドメスティックバイオレンス(DV)、ハラスメントといった人権問題が深刻化しています。さらに、インターネット上では、他人を誹謗中傷する情報が不特定多数の人に簡単に伝わってしまうなどの問題も生じています。これらもまた、人と人とのつながりに関わる問題であると言えます。

兵庫県では、県内の市町と一体となって、「人権文化をすすめる県民運動」を推進しています。人権文化とは、日常生活の中で、お互いの人権を尊重することを、自然に感じたり、考えたり、行動することが定着した生活の有り様そのものを言います。例えば、混んだ電車やバスでお年寄りや体の不自由な人に出会ったとき、声をかけたり、自然に席を譲る行動をとることであり、雨の日に車で走行中に歩行者に出会ったとき、車のスピードを落として、泥水がかからないように相手のことを考えた行動をとることなどで、決して難しいことはありません。このようなことが定着するとともに、人と人とのつながりづくりや支え合いを進めていくことが大切です。

そこで、まず私たちにできることは、家族一人ひとりを心に思い起こし、そのつながりを見つめ直すことです。そうすることで、お互いの個性や大切さに改めて気づくことができます。

また、社会の変化とともに、家族の形態も変化してきています。そのような場合には、年齢や性別等を超えた、地域全体が一つの家族のようなつながりを持つ「地域まるごと家族」を創り出していくなど、地域ぐるみでの新たなつながりづくりを工夫していくことが必要ではないでしょうか。

本年度は、このような社会状況を踏まえ、「無縁社会と家族」をテーマに、ビデオ作品「ヒーロー」を制作しました。この作品をできるだけ多くの方にご覧いただき、無縁社会と言われる中で、お互いの関係が希薄であるがゆえに家族や地域で起こる身近な人権問題に対して、傍観するのではなく主体的に行動することの大切さを感じていただくとともに、人と人とのつながりが実感できる人権文化に満ちた地域社会が創り上げられていく一助になることを願っています。

平成26年2月

## 目 次

はじめに

1 制作のねらい ..... 1

2 登場人物 ..... 1

3 あらすじとポイントとなる<sup>セリフ</sup>台詞 ..... 2

4 活用にあたって ..... 4

◇ 学習展開例 ..... 6

◇ ワークシート ..... 7

5 参考資料等

(1) 無縁社会について ..... 9

(2) いじめについて ..... 11

(3) インターネットによる人権侵害について ..... 12

(4) ひとり親への福祉サービスについて ..... 13

(5) 人と人とのつながりについて ..... 14

(6) 相談窓口（人権全般） ..... 15

## 1 制作のねらい

### 「無縁社会と家族」 ～ 生きること つながること ～

近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による問題です。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、私たちに何ができるでしょうか。

この作品の主人公の行男は、働き盛りのサラリーマンです。地域社会と縁を持たなかった行男が、あるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていきます。そうした体験の中で、自分の家族との絆も深めていきます。

「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうために、このドラマを制作しました。

## 2 登場人物



つるまき ゆき お  
**鶴巻 行男**  
＜矢柴 俊博＞

文具メーカーの課長。



つるまき きょう こ  
**鶴巻 恭子**  
＜伊藤 かずえ＞

行男の妻。イベント企画会社の社員。



つるまき み う  
**鶴巻 美羽**  
＜池田 英＞

行男の娘。中学生。バスケットボール部。



まきの とみ え  
**牧野 富枝**  
＜草村 礼子＞

行男と同じ町内に住む独居女性。



かんだ しん じ  
**神田 真司**  
＜佐藤 元大＞

行男と同じ町内に住む小学生。



かんだ たつ き  
**神田 竜樹**  
＜小池 真吾＞

真司の父。建設業。真司と二人暮らし。



おとも のりすけ  
**大伴 則介**  
＜児玉 頼信＞

町内会長。商店街のリーダー。不動産店を経営。



たかひら ごろう  
**高平 五郎**  
＜春延 朋也＞

商店街で食料品店を経営。

### 3 あらすじとポイントとなる台詞

#### 1 秋祭りのイベント会場

ヒーロー（行男）、登場。ヒーロー、転倒し腕に怪我をする。



#### 2 鶴巻家リビング

沖縄への家族旅行がキャンセルになる。

行男「副会長なんて断ればよかったんだ。うちは共働きだし、キミだって忙しいんだから」

恭子「そうもいかないのよ。当番をパスすると住みづらくなるでしょ」



#### 3 土手

行男、会社に電話。真司、同級生たちにいじめられ、ポシェットを川に落とされる。行男、心配するが何もできない。



行男「おいおい、それはいじめだよ…」

#### 4 大伴不動産

行男、お見舞いをもらう。富枝へチラシを届けるよう依頼される。



行男「(依頼に対して) 僕が?」

大伴「私は私、他人は他人、誰にも干渉されずに自由に生きたいって気持ちは分かる。だけど、それが行き過ぎちゃうとこういうこと(無縁社会)になっちゃうんだよ」「ご近所に住んだのも何かのご縁。地域の縁結びに力を貸してもらえないかね」

#### 5 コーポのじぎく前

チラシを届けに来た行男。富枝と出会う。いじめられる真司。富枝の一喝。何もできない行男。



#### 6 鶴巻家リビング

家族での会話。

恭子「でもね、必要よ。お節介やう人って。だって、牧野さんってもう 80 歳くらいでしょ? このまま放っとくと孤独死…とか」

行男「一人なんだから、老人ホームに入った方が安心だよな」

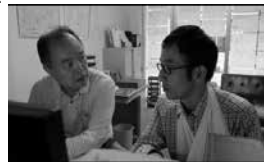
恭子「みんながみんな老人ホームに入れるわけじゃないし、ホームに入ったとしても、孤独な人はいるでしょ」

美羽「家族がいても、孤独死する人、いるんだって」



#### 7 大伴不動産

行男と大伴、インターネットで差別的な書き込みについて調べる。



大伴「あそこは同和地区だとか、こういう書き込みが差別をあおるんだよ」

行男「僕は…無視ですかね。関係ないし」

大伴「自分の身に降りかからない限り、みんな他人事だよな。でもさ、今も傷ついたり、苦しんだりしてる人がいるんだよ。皆でなくしていかないと」

#### 8 食料品店

真司が万引きをする。高平に詰め寄られるが、行男が代わりに代金を支払う。



真司「お父さんには言わないで」

高平<行男に>「ヒーローごっこはもう終わったんだよ」

#### 9 土手

行男、真司に助けた訳を伝える。

真司「お父さんには何も言わないで」



真司「ヒーローごっこは終わりなんですよ」

#### 10 コーポのじぎく前

真司の手提げ袋が富枝の手に当たる。真司のお腹が鳴る。



#### 11 富枝の部屋

行男と真司、富枝におにぎりをごちそうになる。真司、富枝におにぎりの作り方を習う。



富枝「心をこめて握れば、必ずおいしくなる。おにぎりはね、人の心を結ぶんだから」「おむすびっていうでしょ」

行男「何であの子たち、真司くんのこといじめるんだろうな」

真司「俺の家だけ、みんなと違うから」

富枝「だからって、いじめたり仲間外れにしたりするなんて…。一人ひとりが違って、当たり前なんだからねえ」

富枝「真司くん、あんたは頑張ってる。お父さんも頑張ってる。だけどね、困ったときは周りの人に『助けて』って言うのよ。『助けて』って言うのは恥ずかしいことじゃないんだから。人を信じるってことなんだからね」

## 12 富枝の部屋の前

竜樹、真司を探して2階から降りてくる。行男と竜樹が初めて出会う。



## 13 ドラッグストア

行男、竜樹を見かけ、通り過ぎようとするが、戻って声をかける。行男と竜樹の口論。



**竜樹**「あんたと違って、こっちは仕事選んでる余裕はないんだよ」

**行男**「学校に相談したり、福祉サービスを利用したり、何か方法はあるでしょ」

**竜樹**「余計なお世話なんだよ。他人のくせに何が分かる。あんたに何ができる？」

## 14 真司の部屋

真司、竜樹に代わって洗濯物を畳む。真司の後姿を眺める竜樹。



## 15 鶴巻家リビング

家族での会話。

**行男**「ああ、もう！余計なこと言わなきゃよかったよ」

**恭子**「でも、放っといいていいのかな。真司くんって子、いじめられてるんでしょ」

**行男**「あの時さ、牧野さんみたいに、コラーッって叱れてりゃあな」

**恭子**「でも、よその家の子どもを叱るのって勇気がいるもんね。私もだけど、みんな自分の子どもを守るので精一杯よ」

**行男**「子どものピンチに駆けつける正義のヒーロー。昔、憧れたなあ。現実はな…」

**美羽**「ヒーローだって、もとは普通の人でしょ」

## 16 土手

行男、川原に向かって駆け下りる。

## 17 鶴巻家リビング

行男の書き置き。

ヒーローになる！



## 18 川原

行男、川に入り、真司のポシェットを見つける。



## 19 真司の部屋

熱にうなされる竜樹。玄関のドアを開けて飛び出す真司。窓の格子にかけられたポシェットの中に手紙を見つけ、笑顔で駆け出す。



## 20 土手

真司、息を切らして行男に駆け寄る。

**真司**「お父さんを助けて！」



## 21 真司の部屋

行男と真司が部屋に飛び込んでくる。竜樹の額に手をやる行男。救急車を呼ぶ。



## 22 病室

竜樹、目を覚まし、真司のポシェットの中の手紙を読む。おにぎりを噛みしめる。



ヒーローは いつもキミのそばにいる  
つるまき ゆきお

**竜樹**「他人のくせに…」

## 23 商店街

行男と真司と富枝が歩いている。3人を温かく見つめる大伴と高平。



**富枝**「私ね、真司くんのお父さん

の気持ち、少しわかる。私もそうだったから。人に頼るのがイヤ。夫が亡くなってから、人に頼らずに一人で生きてきた。ホントは一人ぼっちで死んで行くんじゃないかなって、不安でたまらないのに」

**行男**「でも、牧野さん、言っていましたよね。『助けてって言うことは、恥ずかしいことじゃない。人を信じるということだ』って」

**大伴**「他人同士でも、縁はつながっていくんだよ」

## 24 鶴巻家リビング

帰宅した行男、テーブルにメモを見つける。ガッツポーズ。



パパへ 休みもあと1日。温泉でもどう？  
美羽も行きたがってるヨ！ 恭子

## 4 活用にあたって

### (1) 学習会の流れ

学習会を始める前に、計画や運営の面でどのようなことに注意していくとよいか、基本的な内容についてチェックしてみましょう。

#### 【準備】

- ☐ **学習のねらい**が、はっきりしている。
- ☐ **学習内容**は、学習者が知りたいことである。
- ☐ **実施時期や時間、場所**は、学習者に無理のない設定である。
- ☐ **指導者や講師**は、ねらいや内容の点から適任である。
- ☐ **学習方法**は、講義や討論、ビデオ視聴など学習者や内容に合わせて決めている。
- ☐ **資料や機材等の確認**ができている。
- ☐ **昨年度の改善点**を活かしている。

効果的な学習となるための最大のポイントは、ねらいの明確さです。学習内容や講師選択は、しっかりとしたねらいがなければ成り立ちません。また、事前に講師と打合せを行い、担当者の考えを伝えておきます。話し合いをする場合、班分けへの配慮とともにテーマ設定が重要です。身近で、だれもが知りたいと感じているテーマを示すことで、意見が活発に出され、充実した気づきの場となります。

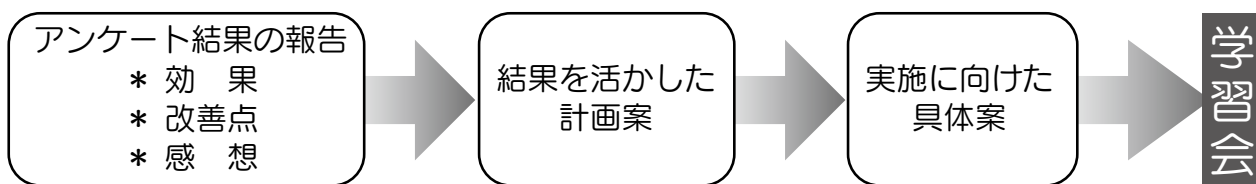
#### 【実施】

- ☐ **スムーズな進行**をめざして、シナリオを作成するなど工夫している。
- ☐ **ワークシート**は、学習者が考えを整理するための資料として活用している。
- ☐ **話し合う班**は5名程度と少人数にし、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。
- ☐ プライバシー厳守や他者を批判しないなど**話し合う際のルール**が共有できている。
- ☐ 実施中に学習者の様子を観察するなど、**評価の視点**を取り入れている。
- ☐ **アンケート**に、理解の程度や内容に関する項目、自由記述などを入れている。

学習会を成功させるには、全体の流れがイメージできていることが重要です。受付や挨拶、講演や討論の質疑応答などの時間配分も含めて、計画にそって進めていきます。話し合いをする場合、学習者同士の関わりによって新たな気づきが生まれ、学び合った成果を発表し合う、といった振り返りの機会をもつことが大切です。学習者が、聞く・見る・話す・作る、など変化のある活動ができるよう心がけます。

#### 【実施後】

- ☐ アンケート結果を、**効果があった点と改善点**とに分けてまとめ、報告する。
- ☐ アンケート結果をもとに、**次回の学習会に向けた計画案**を作成する。



#### 〈学習者の視点を大切に〉

☆ 学習者に新たな気づきがあったか。 ☆ 学んだことが日常生活につながっているか。

## (2) 学習のねらい

- ◆ 登場人物の言動を通して、周りの人との日頃のつながりを振り返る。
- ◆ 私たちが日常何気なく発したり聞いたりする陰口・噂話<sup>うわさ</sup>が、知らず知らずのうちに人権を侵害していることに気づく。
- ◆ 身の回りの人権問題に対して、他人事にするのではなく、主体的に行動することの大切さを認識する。
- ◆ 地域の人が一つの家族のように縁を結ぶことの大切さを実感する。

## (3) 初めて学習会を計画される方へ

ビデオを用いた学習会では、見ただけで終わらせることのないように、少しの時間でもよいので、感じたことや考えたことなどを自分自身で整理したり、他の参加者とともに話し合ったりすることで、課題への理解を一層深めることができるよう、参加型学習の手法を一部取り入れるなどの工夫が望まれます。

今回の作品では、上記の学習のねらいをもとに、次のような点が話し合うポイントとして考えられますが、具体的に扱う項目については、学習会全体の状況を考慮して絞ることが必要です。

### ア 鶴巻一家や神田親子、大伴など地域の人たちが、どのように他者と関わっているかを感じ取り、自分と比較することで、周りの人との日頃のつながりを振り返る。

- ・登場人物の言動について、共感したところや共感できないところはどんな点ですか。【ワークシート1】
- ・周りの人との関わり方について、あなたは登場人物の中では、誰と似ていると思いますか。【ワークシート2】

### イ 人権問題に対する行男と大伴の姿勢の違いや、行男自身の気づきと言動の変化などから、他人事にするのではなく、主体的に行動することの大切さを認識する。

- ・大伴が、どんな気持ちで、お節介とも思える行動をするのか、その思いや願いはどのようなものでしょうか。【ワークシート1】
- ・行男は、どんな経験をすることで、「ヒーロー」に成長していくことができたのでしょうか。【ワークシート1】

### ウ 行男、真司、富枝の、出会いから心の交流に至る新たなつながりづくりを通して、地域の人が一つの家族のように縁を結ぶことの大切さを実感する。

- ・地域の人が一つの家族のように縁を結び合っていくために、地域の一員であるあなたは、どんなことができるでしょうか。【ワークシート1】
- ・周りの人たちとの関わり方を振り返り、あなたがそのつながりをさらに強くしていくために、またさらに広げていくために、どんなことができると思いますか。【ワークシート2】

次のページに、これらを使った学習展開例を紹介しています。

## 學習展開例

40 名程度で 90 分の住民学習を想定しています。参加者の人数や使うことのできる時間によって、時間の割り振りや話し合う項目の数を調整し、無理のない学習を行いましょう。

ワークシート1は、グループで話し合う場合に、またワークシート2は、個人作業を中心に行う場合に活用できるシートです。参加者の状況に応じて修正を加えながら、より学習に役立つものにしてください。

| 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 学習活動を支援するポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1 開会（8分）</b><br>・班ごとに自己紹介と役割分担をする。<br>・学習会の進め方を知る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受付で班カードを配り、班ごとに座ってもらう。（1班5名程度）</li> <li>○ 自己紹介後、司会・記録・発表などの役割を決める。</li> <li>○ 扱う項目（P.5）をあらかじめ伝えてから視聴する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>2 「ヒーロー」を視聴する。（34分）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>3 ワークシートに記入する。（8分）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のメモとして、簡単に記入することを伝える。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>4 項目を絞って班ごとに話し合う。（20分）</b><br><br>（1）登場人物の言動について、あなたが共感したところや共感できないところはどんな点ですか。（登場人物の中では、あなたは誰と似ていると思いますか。）<br>（あなたの、周りの人との関わり方に近いものは。）<br><br>（2）大伴が、どんな気持ちで、お節介とも思える行動をするのか、その思いや願いはどのようなものでしょうか。<br><br>（3）行男は、どんな経験をすることで、「ヒーロー」に成長していくことができたのでしょうか。<br><br>（4）地域の人が一つの家族のように縁を結び合っていくために、地域の一員であるあなたは、どんなことができるでしょうか。（つながりを強め広げていくためにできることは。） | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「共通の項目を全体で」や「班ごとに項目を決めて」など、話し合う前に内容について伝える。</li> <li>○ 各班を回りながら、支援の声かけをする。（話し合いの内容に適切な資料を紹介するなど）</li> </ul> <p>（1）建前でなく、本音を言い合うことが大切。他者の意見を最後まで聞き、そういう思いを持つ人もいるのだと他者の思いを共有する。</p> <p>（2）人と人とをつなぐことの大切さや、その人がいることの意味を考える。</p> <p>（3）他人に関わり、心に傷を負いながらも、主体的に行動することで成長していく過程に注目する。</p> <p>（4）理想の地域像を共有しながら、自分の地域の課題を解決するために、どんなことができるか自由に話し合う。</p> |
| <b>5 各班で出た意見を交流する。（12分）</b><br>（2～3班に発表してもらう）                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ内容が続く場合もあるため、前の班が触れなかった点を中心に発表するよう助言する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>6 まとめ（6分）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本作品での「ヒーロー」の意味について考え、他者を思うこと、そばに寄り添うこと、小さな一歩を踏み出す勇氣を持つことなどが、人と人とのつながりを深めていく上で大切な点であることを伝え、まとめとする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>7 閉会（2分）</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## ヒーロー

※視聴後の感想を整理し、話し合いをスムーズに進めるためのメモと考え、お書きください。

- (1) 登場人物の言動について、あなたが共感したところや共感できないところはどんな点ですか。

| 登場人物 | 共感したところ | 共感できないところ |
|------|---------|-----------|
|      |         |           |
|      |         |           |

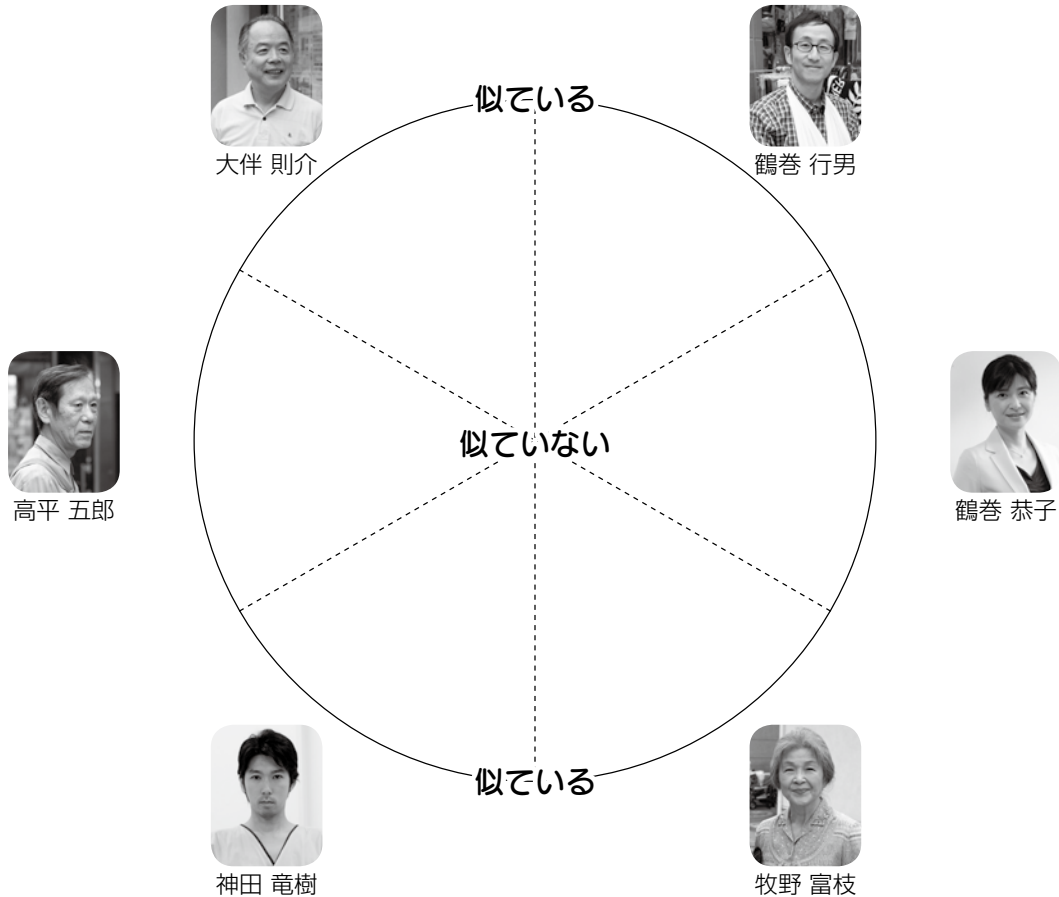
- (2) 大伴が、どんな気持ちで、お節介とも思える行動をするのか、その思いや願いはどのようなものでしょうか。

- (3) 行男は、どんな経験をすることで、「ヒーロー」に成長していくことができたのでしょうか。

- (4) 地域の人が一つの家族のように縁を結び合っていくために、地域の一員であるあなたは、どんなことができるでしょうか。

## ヒーロー

☆ 周りの人との関わり方について、あなたは下にあげた登場人物の中では、誰と似ていると思いますか。円の中で、近いと感じられるところに、印を入れてみましょう。（円の中のどこでも、いくつでも結構です。初めて登場した時の人物像で考えてください。）



☆ あなたの、周りの人との関わり方に近いものはどれですか。チェックしてみましょう。  
 適当なものがない場合は、（ ）に記入してください。

- ☐ 仕事は頑張っているが、家族とはやや距離があり、地域への関心は低い。
- ☐ 仕事をしながら家族も大切にしており、地域にも出来る範囲で参加している。
- ☐ 一人であることに不安を覚えながらも、地域と関わることに抵抗感がある。
- ☐ 家族のために仕事や家事を頑張っており、地域と関わる時間や気持ちがほとんどない。
- ☐ 地域のリーダーを支えながら、地域の活動にも積極的に参加している。
- ☐ 地域のリーダー的な存在として、住民同士のつながりづくりに苦心している。
- ☐ 上記以外（ ）

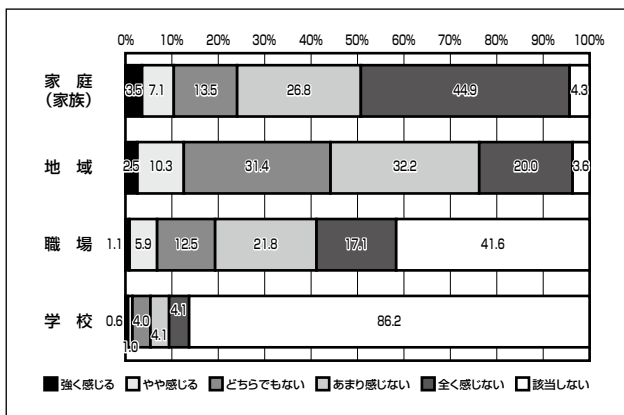
☆ 周りの人たちとの関わり方を振り返り、あなたがそのつながりをさらに強くしていくために、またさらに広げていくために、どんなことができると思いますか。

## (1) 無縁社会について

### 日常生活における孤立感

内閣府「国民生活選好度調査」(平成23年)によると、「家庭、地域、職場、学校等の日常生活の様々な場面において孤立感を感じていますか」という問いに対して、「強く感じる」「やや感じる」と答えた者の割合は、「家庭(家族)」(10.6%)、「地域」(12.8%)、「職場」(7.0%)となっています。特に、「地域」に対して「どちらでもない」と答えた者の割合が31.4%(平成22年の調査:30.2%)と比較的高く、地域については孤立感をイメージしにくい現状がうかがえます。

日常生活の様々な場面において孤立感を感じている割合



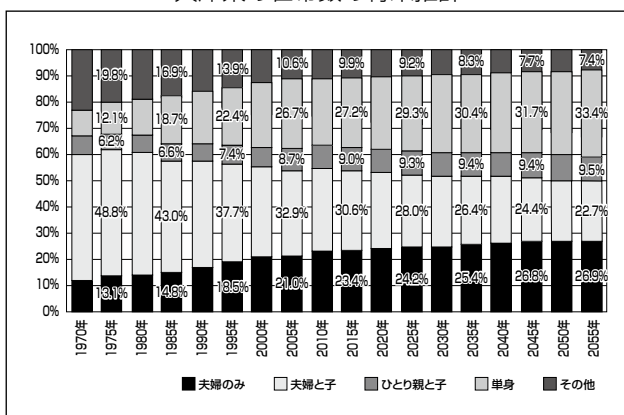
(内閣府「国民生活選好度調査」平成23年)

### 無縁社会を生む要因

(公財)兵庫県人権啓発協会『研究紀要 第14輯』(平成25年)によると、家族形態の変化、雇用の変化、ライフスタイルや価値観の変化などで、人と人とのつながりが希薄化し、「無縁社会」化の進行が心配されるとあります。

まず、家族形態の変化については、単身世帯と未婚者の増加が特徴です。

兵庫県の世帯数の将来推計

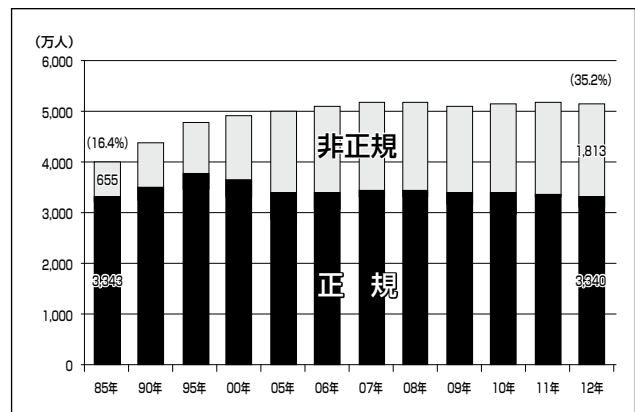


(兵庫県「兵庫県の世帯数の将来推計について」平成20年)

兵庫県「兵庫県の世帯数の将来推計について」(平成20年)によると、世帯数に占める単身世帯の割合は、2005年から2055年の間で、26.7%から33.4%に上昇しています。また、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」(平成23年)によると、生涯未婚率(50歳時の未婚率)に関する昭和55年(30年前)との比較では、男性が2.6%から20.1%、女性が4.5%から10.6%へと上昇しています。

次に、雇用の変化については、終身雇用が崩れ、非正規雇用が増加しています。総務省「労働力調査」(平成24年)によると、非正規雇用は労働者全体の3分の1を超え、過去最高水準となっています。会社と個人との関係の希薄化につながっているのではないかと思います。

正規雇用・非正規雇用の割合



(総務省「労働力調査」平成24年)

また、ライフスタイルや価値観の多様化により、深い近隣関係を望まない人が増えてきています。内閣府「平成19年版国民生活白書」(平成19年)によると、自分が住んでいる地域におけるつながりが10年前と比べてどのように変化したか聞いたところ、「変わっていない」と答えた者の割合が46.5%と最も高い反面、「弱くなっている」「やや弱くなっている」を合わせた割合は30.9%に上っています。

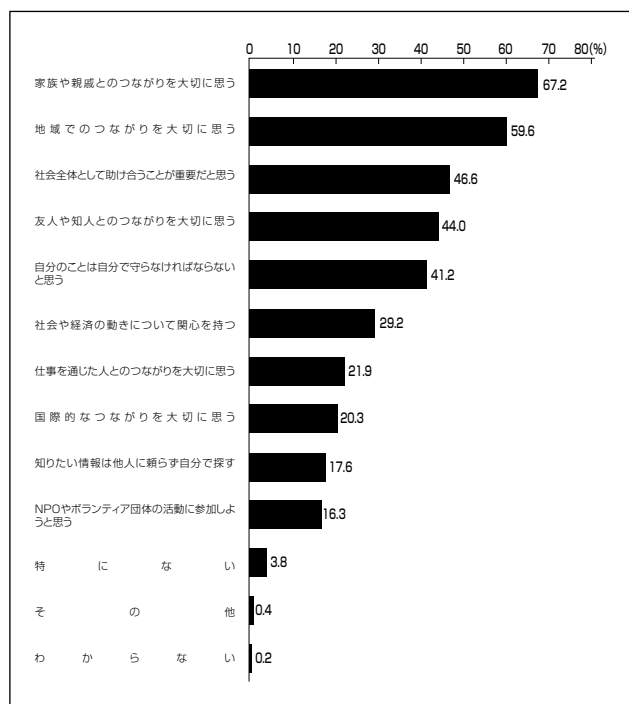
地域のつながりが弱くなったと回答した者に、その理由を尋ねたところ、「人々の地域に対する親近感の希薄化」を挙げた者の割合が55.3%と最も高く、「近所の人々の親交を深める機会不足」49.8%、「他人の関与を歓迎しない人の増加」38.3%、「集合住宅が普及してきたので」31.2%となっており、地域のつながりが希薄化していることがうかがえます。

## 東日本大震災後の意識について

内閣府「社会意識に関する世論調査」(平成 24 年)によると、東日本大震災前と比べて、社会における結びつきが大切だと思うようになったか聞いたところ、「前よりも大切だと思うようになった」と答えた者の割合が 79.6%、「特に変わらない」が 19.7%、「前よりも大切だとは思わなくなった」が 0.5%となっています。

また、東日本大震災後、強く意識するようになったことは何か聞いたところ、「家族や親戚とのつながりを大切に思う」と答えた者の割合が 67.2%と最も高く、これに続いて「地域でのつながりを大切に思う」(59.6%)、「社会全体として助け合うことが重要だと思う」(46.6%)、「友人や知人とのつながりを大切に思う」(44.0%) となり、震災後、家族や地域、友人などとのつながりや助け合いを強く意識していることがうかがえます。

東日本大震災後、強く意識するようになったこと(複数回答)



(内閣府「社会意識に関する世論調査」平成 24 年)

## つながりの地域づくりのために

宮本 太郎(中央大学法学部教授)

### < 移りゆく縁の形 >

地域のつながりが弱まったと嘆く人が多い。日本の地域社会では、勤め人が増えるなかで「社縁」が比重を高め、「地縁」は自営業者や商店街などにその維持がゆだねられるようになりまし。ところが、雇用の流動化で社縁も揺らぎ、零細な流通業に対する保護が弱まるなかで、商店街の賑わいも郊外のショッピングモールに吸収されてしまう傾向

にあります。

たしかに無縁社会などという言葉も飛び交っています。だが縁というのは移りゆくものであり、絶えず生成するものです。社縁や地縁もまたずっと同じ形であったわけではありません。社会学者の<sup>あらたまさし</sup>新雅史によれば、商店街が形成されはじめたのは 1930 年代の後半で、百貨店の建物が横に並んだようなものとして、「横の百貨店」と呼ばれたといいます。商店街が各地に広がったのは戦後のことなのです。

また、日本人が閉じた縁のなかに閉じこもってきたかという決してそうではありません。もともと歴史学者の<sup>あみのよしひこ</sup>網野善彦が「無縁」という言葉をつかったとき、それは閉じた共同体から自由になろうとする人々による新しい関係を指していました。映画「男はつらいよ」のフーテンの寅さんこと車寅次郎は、露天商として各地を渡り歩きながら様々な人の関係を取りもっていきます。日本人はそのような、縁の外に出て縁をつないでいく自由な存在を愛してやまないのです。

### < 新しい縁の形成と古い縁の継承 >

地域では、子育てや介護、あるいは生活困窮者の支援など、新しい縁を必要とするニーズが次々に生じています。これまでは、縦割り行政がこうした課題に個別に対応してきました。しかし、行政だけががんばっても、母親、子ども、高齢者、困窮者が「元気を取り戻す」という課題を達成していくことは難しいのです。その一方で、たとえば高齢者と若者や母子家庭が世代を越えて居住する集合住宅をつくる「世代間居住」や、高齢者や障がいのある人々、子どもなどに対する福祉サービスを同じ空間で提供し、相互の支え合いをも実現していく「共生型福祉」などの試みが広がっています。これらは、新しい家族、新しい縁の形成であるのです。

各地で、社会福祉法人、NPO、医療などの分野を問わず、多様な立場の人が現代の寅さんよろしく、縁の結び役になっています。こうした新しい縁むすびをともに引き受けていくことこそが、古い縁をもよみがえらせ継承していく有効な方法だと思います。

(ひょうご人権ジャーナル『きずな』平成 26 年 1 月号)

## (2) いじめについて

### いじめの定義

文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(平成 25 年)によると、

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

この「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応を取ることが必要である。

と定義されています。

### いじめの認知件数

同調査によると、小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数は、約 19 万 8 千件で過去最多となり、前年度(約 7 万件)より約 12 万 8 千件増加しています。

その具体的な内訳は、小学校 117,383 件(前年度より 84,259 件増加)、中学校 63,634 件(同 32,885 件増加)、高等学校 16,274 件(同 10,254 件増加)、特別支援学校 817 件(同 479 件増加)となっています。

増加の要因として同省は、「教師の意識が高まり、仲たがいやけんかの後の意地悪などもいじめととらえた。また、いじめアンケートを実施し、それを受けて教育相談を行ったため、より細かな把握ができた。」「いじめ問題への社会的な意識の高まりや学校・教員のいじめを絶対に許さないという思いが、より子どもに伝わったことで、子どもたち自身が、安心して、いじめを訴えることができたのではないか。」等を挙げています。

### いじめの特徴

具体的ないじめの様態としては、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる」(64.3%)、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」(21.4%)、「仲間はずれ、集団による無視をされる」(21.3%)(上位 3 項目)となっています。

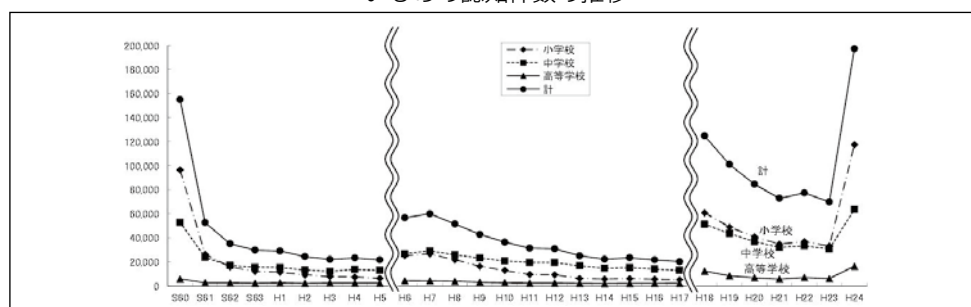
学年別の認知件数では、小学校 1 年(15,026 件)から 4 年(21,897 件)で増加し、6 年(19,023 件)まで減少しています。その後、中学校 1 年(29,524 件)で急増し、高等学校 3 年(3,568 件)まで減少しています。

### いじめの対応について

兵庫県教育委員会では、平成 25 年 3 月に「いじめ対応マニュアル」を改訂し、以下の基本認識のもと、すべての児童生徒が生き生きとした学校生活を送れるよう取り組んでいます。

- ①いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こり得るものである。
- ②いじめは人権侵害であり、人として決して許される行為ではない。
- ③いじめは大人には気づきにくいところで行われることが多く発見しにくい。
- ④いじめはいじめられる側にも問題があるという見方は間違っている。
- ⑤いじめはその行為の態様により暴行、恐喝、強要等の刑罰法規に抵触する。
- ⑥いじめは教職員の児童生徒観や指導の在り方が問われる問題である。
- ⑦いじめは家庭教育の在り方に大きな関わりをもっている。
- ⑧いじめは学校、家庭、地域社会などすべての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって取り組むべき問題である。

いじめの認知件数の推移



(文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」平成 25 年)

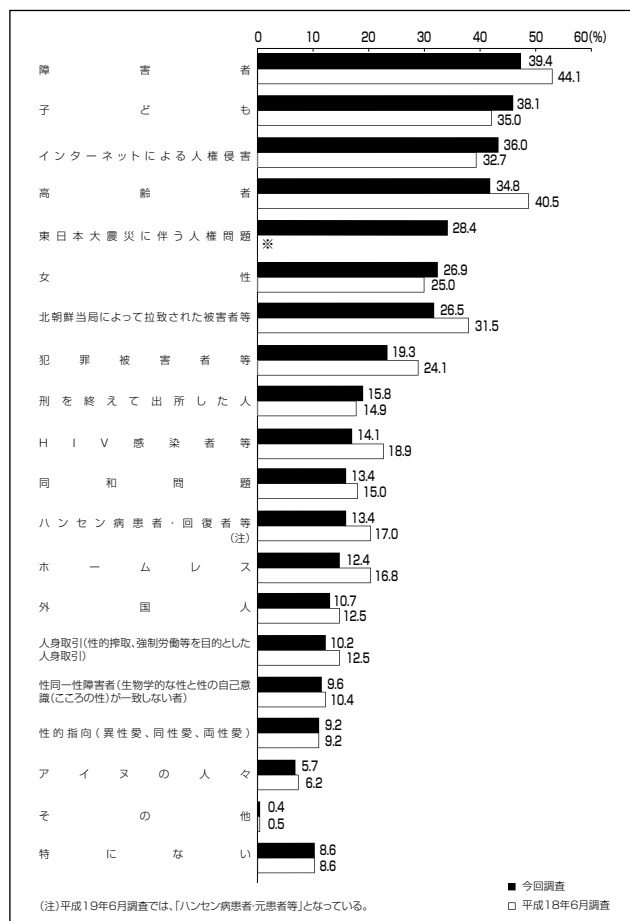
(兵庫県教育委員会「いじめの問題に対する対応の徹底」より抜粋。詳しくは同委員会ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/ijimetaiou/ijimetaiou.html> を参照。いじめに関する相談窓口も、上記のホームページに掲載されています。)

### (3) インターネットによる人権侵害について

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年)によると、日本における人権課題について関心があるものはどれか聞いたところ、「障害者」を挙げた者の割合が39.4%、「子ども」が38.1%、「インターネットによる人権侵害」が36.0%、「高齢者」が34.8%の順となっており、「インターネットによる人権侵害」は、3番目に関心の高い人権課題となっています。

前回の調査結果(平成19年)と比較すると、「障害者」と「高齢者」を挙げた者の割合が減少(「障害者」44.1%→39.4%、「高齢者」40.5%→34.8%)しているのに対し、「子ども」と「インターネットによる人権侵害」を挙げた者の割合が増加(「子ども」35.0%→38.1%、「インターネットによる人権侵害」32.7%→36.0%)しています。

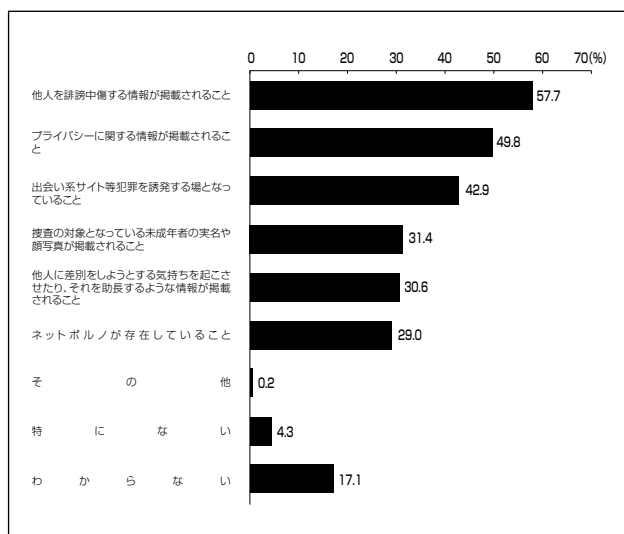
人権課題に対する関心(複数回答)



(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成24年)

インターネットによる人権侵害に関し、現在どのような問題が起きていると思うか聞いたところ、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」を挙げた者の割合が57.7%、「プライバシーに関する情報が掲載されること」が49.8%、「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」が42.9%となっています。

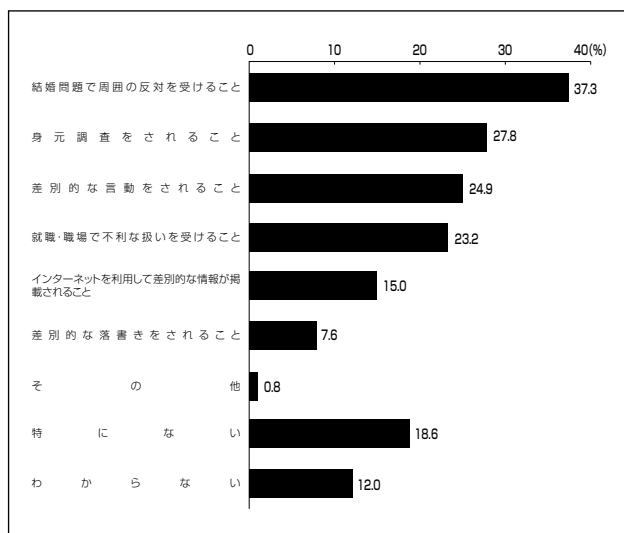
インターネットによる人権侵害に関する人権問題(複数回答)



(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成24年)

インターネットによる人権侵害は、同和問題に関する人権問題の中でも挙げられており、インターネット上の掲示板等に、誹謗中傷の書き込みや差別的な書き込みなどが掲載されるとい問題も起きています。

同和問題に関する人権問題(複数回答)



(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成24年)

インターネット上で人権侵害を受けた場合、被害者はプロバイダーやサーバー管理者・運営者に情報の削除を求められます。被害者自ら削除を求めることが困難な場合は、法務省の人権擁護機関や警察に相談することができます。

法務省 インターネット人権相談受付窓口

パソコンからの相談

(<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>)

携帯電話からの相談

(<http://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>)

兵庫県警察サイバー犯罪対策課

パソコンからの相談

(<http://www.police.pref.hyogo.jp/seikatu/cyber/index.htm>)

## インターネットと人権

### ～今、ネットで何が起きているのか～

安川 雅史（全国 web カウンセリング協議会理事長）

全国 web カウンセリング協議会には、毎年約 1 万 6 千件の相談が寄せられます。今年になってから特に増えたのが、\*LINE（ライン）に関する相談です。昨年の件数の 10 倍を超えています。LINE 上でのいじめ、LINE の利用が発端となるいじめ、食事中や勉強中も手放さない、布団に入ってから夜中まで LINE をやっているという親からの相談や、LINE のやり取りのやり方を教えてほしいといった子どもからの相談もあります。

これらは、人の気持ちが分からなくなっている結果だと思えます。ご飯を作ってくれる親の気持ちも分からないうちに食事中にも LINE をやる、友達のことを考えられなくなっているから勉強中もやりとりをしてお互いに足を引っ張り合う。親は、食事中は LINE はやらないこと、友達のことを思うのであればお互いに勉強の邪魔はしないことを、子どもと本気で向き合い、伝えなければいけません。

最近、\*フィルタリングを外している子どもも非常に多いです。フィルタリングがかかっていたら LINE ができない、音楽やゲームもすべてダウンロードできない、という子どもの誤解を親が信じてしまうためです。フィルタリングは、子どもを犯罪やいじめから守るためにあるものです。それを簡単に外してしまつては大問題です。

また、スマートフォンを買い与えた親自身が、その使い方が分からないという声をよく聞きます。スマートフォンは、小型のパソコンです。便利ですが危険も伴います。包丁と同じです。「お母さんは、包丁ってあまり使ったことないけれど、あなたは自由に使いなさい」と言って包丁を渡す親はいないはず。分からないという前に、まず親も分かる努力をすることが必要だと思えます。

これは教師にも言えることです。大人の無知・無関心を改め、子どもにきちんと伝えるべきことを伝えていけば、ネット上のトラブルもいじめも少なくなっていくはず。す。

\* LINE /スマートフォンなどの携帯端末から、グループ間でのメッセージ交換や音声通話を利用できるサービス

\* フィルタリング / インターネット上の違法・有害情報へのアクセスを制限する機能

（（公財）人権教育啓発推進センター『アイユ』

平成 25 年 12 月号より抜粋）

## （４）ひとり親への福祉サービスについて

兵庫県「兵庫県の世帯数の将来推計について」（平 20 年）によると、ひとり親と子の世帯数は、1985 年に約 16 世帯に 1 世帯の割合が、2015 年には約 10 世帯に 1 世帯へと増加しています。

厚生労働省「全国母子世帯等調査」（平成 23 年）によると、ひとり親世帯の「子どもについての悩み」では、母子世帯、父子世帯ともに「教育・進学」が最も多く、次いで「しつけ」となっています。次に「ひとり親の困っていること」では、母子世帯の場合、「家計」が 45.8%、「仕事」が 19.1%、「住居」が 13.4%、父子世帯の場合、「家計」が 36.5%、「仕事」が 17.4%、「家事」が 12.1%となっています。また「相談相手について」では、「相談相手あり」と回答した割合は、母子世帯が 80.4%、父子世帯が 56.3%となっています。さらにひとり親世帯に対する公的制度等の利用状況では、「公共職業安定所（ハローワーク）」（母子世帯：69.1%、父子世帯：49.4%）、「市区町村福祉関係窓口」（母子世帯：48.9%、父子世帯：31.5%）が上位に挙げられています。「市区町村福祉関係窓口」を利用したことがない人のうち、この制度を知らなかった人の割合が、母子世帯では 39.8%、父子世帯では 34.2%あることから、公的制度を含めた福祉サービスの周知について、より一層工夫していく必要があります。

**相談窓口**（15 ページに問合せ先を掲載しています）

□ 民生委員・児童委員

※ 民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。

□ 市町児童家庭相談窓口

※ 児童福祉法により、第一義的な窓口として各市町に相談窓口が設けられています。子どもや家庭に関する相談に応じ、すべての子どもたちが心身ともに健やかに生れ成長するために、各関係機関と連携を図りながら活動しています。

□ こども家庭センター（児童相談所）

※ 児童福祉法第 12 条に定められている児童相談所です。0 歳から 18 歳未満の子どもの健やかな成長を願って、子どもと家庭のさまざまな問題について相談援助活動を展開しています。兵庫県内には、県所管の中央こども家庭センター（内に、洲本分室）、西宮こども家庭センター（内に、尼崎駐在）、川西こども家庭センター（内に、丹波分室）、姫路こども家庭センター、豊岡こども家庭センターと、神戸市所管の神戸市こども家庭センターがあります。それぞれが管轄区域を持って活動しています。

上記に加え、母子自立支援員（各地区の福祉事務所）、尼崎市女性センター・トレピエ、兵庫県女性家庭センター（配偶者暴力相談支援センター）などがあります。

## (5) 人と人とのつながりについて

### 絆が希望を創り出す

～平成24年度人権のつどい講演会語録～  
奥田 知志 (NPO 法人北九州ホームレス支援機構理事長)

○ 人と人が直接出会うことは、大変なことです。「私」が「私」でなくなる瞬間です。「私」の中に、他の人が入ってくる瞬間です。主語が「私」から「私たち」になり、その人のことが自分の中に存在するようになります。だから、人との出会いは、人間を束縛する瞬間でもあります。自分のペースでは生きていけず、その人のペースが入ってくる。それがうっとうしいので、自己責任という理屈をつけて、関わりを断とうとします。確かに、出会いはうっとうしいものかもしれませんが、それによって自分が新しくされていく機会でもあるのです。

○ 「絆」は「きずな」と読み、「きず(傷)」を含んでいます。例えば、ボランティアをして「嬉しかったなあ」で終わってしまうのは問題で、「出会ってしまってあの人大丈夫かなあ、これで自分は帰っていいのか、見捨てて帰りたいでいやだなあ」という、後ろ髪を引かれる思いを持ちながら帰ってくる、というのが出会いであり絆であると思います。

○ 神戸を舞台にした灰谷健次郎さんの小説『太陽の子』の中に、「いい人ほど勝手な人間になれないから、つらくて苦しいのや。人間が動物とちがうところは、他人の痛みを、自分の痛みのように感じてしまうところなんや。ひょっとすれば、いい人というのは、自分のほかに、どれだけ、自分以外の人間が住んでいるかということで決まるのやないやろか」という部分があります。「いい人」でなくても、そもそも人間というものは、そういうものだと思います。

○ 絆を取り戻していくために、ある程度傷つくのは仕方がないことなのです。人間というものは、「自分だけ傷つかないで生きていこう、でも人には助けてもらおう」というふうには、作られていないのです。それでは、社会は何のためにあるのでしょうか。社会は、他人同士が出会う仕組みです。健全に傷つくための、つまり絆を結ぶための仕組みであると思います。

○ 絆を取り戻すためのキーワードがあります。それは、無縁社会や自己責任論社会が私たちから奪ってしまった一言で、「助けて」という一言です。

○ 「助けて」と言える日が、助かる日であると思います。私は、子どもたちに「もっと『助けて』と言っていいんだよ」と伝えています。子どもたちは、小学生の段階から「助けて」と言えない時代を生きています。子どもたちを追いかけていったのは誰か。それは、我々大人です。

○ 私は、「助けて」「いやだ」と言わないで子どもが突然死んでいくような社会は嫌いです。こんな社会は、作り変えなければならないと思っています。そのために、皆さん格好いい大人になってください。格好いい大人とは、「助けて」と言える大人です。兵庫県の中で、この言葉を広げてみてはどうでしょうか。「こんにちは」や「さようなら」ではなく、道行く人に「助けましょうか」と言える町にしてはどうかと思います。

○ 私は、自分勝手な生き方をしてみっともない大人になるより、多少傷ついてでも、「助けて」と言ったり言われたりしながら、少し自分の都合が変更されて勝手な生き方はできないけれども、格好いい、でもつらい大人になりたいと思って活動を続けています。



## 小さな力こそが、 新しい世の中を作っていく原動力

小原田 泰久（作家）

初女<sup>はつめ</sup>さんの作ったおにぎりを食べたことで自殺を思いとどまった人がいます。見た目はのりで包まれた丸くて何の変哲もないおにぎりです。おにぎりの中味は梅干しですから、これも決して特別なものではありません。握り方も、指先ではなく手のひらを使うということが彼女の特徴ですが、それほど特殊だとは思えません。

それでいて、なぜ、彼女のおにぎりを食べると生きる意欲がわいてくるのでしょうか。彼女とかかわった人が、それぞれ自分なりの解釈をしているわけですが、私なりに、おにぎりの中のご飯一粒一粒にまで心を配っている彼女のやさしさ、思いやりが、悩み傷ついた人に生きる意味を思い出させるのではないかと、解釈しています。

「おむすびを作るときは、お米の一粒一粒が息ができるようにと思って握ります」

初女さんの言葉です。

だから、ぎゅっとは握りません。お米が苦しくなってしまうからです。

一粒の米の命にさえ心を配る初女さんの思いが、おにぎりを通して、食べる人に伝わります。

一粒の米は、一人ひとりの人間に重ね合わせることができます。ともに取るに足らないちっぽけな命のように見えるけれども、こんなにも大切にしてくれる人がいると思うと、涙が出るほどうれしくなってきます。そして、「一粒の米が集まっておむすびになり、それを食べた人に生きる意欲と勇気を与えることができる」という感動的な話は、こんな自分でも何か役に立てるかもしれないという希望にもつながってきます。

これからは、個人という小さな力が自分にできることを行動に移すことによって、人と人とのつながりが作り出され、そのつながりによって大きな仕事が成し遂げられるという時代です。小さなご飯粒のつながりによってできあがっているおにぎりが空腹や心の空虚さを満たしていく姿と同じです。小さな力こそが、新しい世の中を作っていく原動力になっていくのです。

（『佐藤初女さん、心のメッセージ』経済界）

※書籍等の問合せは、<http://www.irukanogakko.jp/>へ

## （6）相談窓口（人権全般）

### ◆法務省が開設している人権相談

#### □常設相談（みんなの人権 110 番）

TEL：0570－003－110

※全国の法務局・地方法務局及びその支局で開設している、面接又は電話による相談です。

#### □子どもの人権 110 番

TEL：0120－007－110

※「いじめ」、虐待など、子どもの人権問題に関する専用相談電話です。

#### □女性の人権ホットライン

TEL：0570－070－810

※配偶者・パートナーからの暴力やセクシュアル・ハラスメント等、女性の人権問題に関する専用相談電話です。

#### □外国人のための人権相談所

※日本語を自由に話せない外国人のために、英語や中国語などの通訳を配置して、全国 8 か所の法務局・地方法務局で開設しています。

神戸：神戸地方法務局内人権相談室

（神戸市中央区波止場町 1－1）

TEL：078－393－0600

### ◆（公財）兵庫県人権啓発協会が開設している人権相談

#### □電話相談

TEL：078－242－5355

#### □メール相談

<http://www.hyogo-jinken.or.jp/consult/>

※様々な人権問題について相談に応じています。必要に応じて相談機関の紹介を行います。

.....

#### ○民生委員・児童委員について

兵庫県健康福祉部社会福祉局社会援護課

TEL：078－362－3181

#### ○市町児童家庭相談窓口について

兵庫県健康福祉部こども局児童課

TEL：078－362－3182

#### ○こども家庭センター（児童相談所）について

兵庫県健康福祉部こども局中央こども家庭センター企画指導課

TEL：078－923－9966



平成 26 年 2 月 発行

**兵庫県健康福祉部社会福祉局人権推進課**

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号  
TEL (078) 362-9135 FAX (078) 362-4266

**公益財団法人兵庫県人権啓発協会**

〒650-0003 神戸市中央区山本通 4 丁目 22 番 15 号  
TEL (078) 242-5355 FAX (078) 242-5360  
URL <http://www.hyogo-jinken.or.jp>